

令和3年度新規採用職員インストラクター研修会

南予教育事務所

標記の研修会は、新規採用事務職員の育成・指導を担うインストラクターに必要な資質を養うこと等を目的として、6月18日(金)に南予地方局7階会議室において実施しました。

研修会の概要・様子等は次のとおりです。

<新規採用職員インストラクター研修会(対象者7名)>

1 研修Ⅰ(13:55~15:15)

「インストラクターに必要な資質を学ぶ」

- (1) インストラクターの任務、心構え等
- (2) 指導に当たっての留意点
- (3) マンツーマンでの関わり方
- (4) 相談しやすい環境のづくり方
- (5) 業務指導の仕方



主に上記の内容について研修を実施しました。受講者の声は下記のとおりです。

<インストラクターの声> 研修を受けたことで、自分の姿勢の在り方や目的意識もはっきり持つことができました。新規採用職員にとって一番相談しやすい相手であることが大切であり、その環境を作るため新規採用職員に積極的に関わり、相手を理解する必要があると感じた。日頃から気配りや目配りに注意していきたい。事務業務以外の作業などを通して交流を深めていくという考えは無かったため、コロナ禍で交流を深めて行く手段の一つとしてとても参考になった。今後はインストラクター側から情報発信しながら、何でも話せる環境づくりを心掛けたい。等々

2 研修Ⅱ(15:15~16:40) 「インストラクター座談会」

7名のインストラクターが下記の3つのテーマを基に、自由に意見交換を行いました。

各共同学校事務室の取組や実際の研修方法・指導方法等について、有意義な情報交換ができたようです。また、抱えている悩みについてみんなで見解を出し合うことで、新たな視点を持つことができたようです。

<座談会テーマ>

- (1) 実践例等による意見交換
- (2) 会話や傾聴、コミュニケーションの実践に関する意見交換
- (3) 取組のプロセス評価やフィードバック等、組織の共通理解による育成に関する意見交換



<インストラクターの声> コロナ禍で、他地域の事務職員と接する機会が減っていたので、話す機会ができてとてもよかった。研修についても、講師から資料について質問や投げかけが度々あったので、聞くだけではなく、よく考えながら受講することができ、とてもよかったと思う。インストラクターとしてどのように振る舞えばよいのかわからなかったため、人間関係の面でも指導の面でも、大変勉強になりました。新規採用職員と一緒に成長し、よりよい人材育成ができるよう、頑張ろうと思います。研修会に参加してインストラクター間のコミュニケーションが広がり、活動上の悩みや疑問点の解消等につながることができて良かった。座談会では、普段接点の少ない他の事務室と育成計画や指導方法について情報交換ができ、自身にとって貴重な時間となった。2年連続の受講であったが、新規採用職員との関係を考えながら受講することで、新たな学びを得ることができた。

本研修を通して、知識や視野が広がるとともに、インストラクター同士の人間関係も構築できたのではないのでしょうか。それぞれの人材育成への成果が高まることを期待しています。